

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:令和7年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	建設部都市・まちづくり課(松本建設事務所)
指定管理者	株式会社TOYBOX

1 施設名等

施設名	長野県松本平広域公園	住所 電話 ホームページ	松本市神林5300 0263-57-2211 https://shinshu-skypark.net/
-----	------------	--------------------	---

2 施設の概要

設置年月	平成6年4月	根拠条例等	長野県都市公園条例
設置目的	住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため。		
施設内容	競技スポーツゾーン 陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、国体の森、ピクニック広場、マレットゴルフ場 ターミナルゾーン アイネットやまびこドーム、東管理棟、やすらぎ広場、イベント広場、大型木製遊具、展望台、修景池、里の水景、バーベキュービット、親水広場 ファミリースポーツゾーン 南管理棟、サイクルセンター、ランニングステーション、バターゴルフ場、大芝生広場、遊具、ニュースポーツ、ミニ滑走路 野と花のゾーン 展望広場、ワイルドフラワー園、玉石広場、風の丘 花のプロムナードゾーン バラ園、花木の小径 みどりのプロムナードゾーン ストリートバスケットコート、クライミングウォール、壁打ちテニスコート みどりの交流ゾーン 総合球技場(サンプロアルウィン)、芝生グラウンド、多目的広場、マレットゴルフ場 開園面積:141.6ha		
利用料金	有料施設:陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、総合球技場、芝生グラウンド、やまびこドーム、ランニングステーション、東管理棟、バターゴルフ場(施設により料金は異なる。)		
開所日	年中無休		
開所時間	8:30～22:00		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期 間	管 理 形 態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	財団法人長野県公園公社
平成18年度～20年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	TOY BOX
平成21年度～25年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	TOY BOX
平成26年度～30年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	TOY BOX
平成31年度～令和5年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	TOY BOX
令和6年度～令和7年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	株式会社TOYBOX

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	株式会社TOYBOX	指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)
選定方法	公募(応募者数:1)・非公募(随意指定)		

5 指定管理料(決算ベース)

令和7年度(A)	令和6年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
444,659 千円	412,059 千円	32,600 千円	
	増減理由	価格高騰対策事業経費、松本平広域公園魅力向上推進事業経費等が増加したため	

6 指定管理者が行う業務

(1) 都市公園(建物、備品等を含む)の維持管理及び利活用に関する業務並びにこれに付帯する業務
(2) スポーツ施設等の利用許可及び利用料金に関する業務並びにこれに付帯する業務

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】

(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度(A)	57,622	67,194	46,831	47,112	32,370	51,331	44,590	15,705	11,178	10,793	9,769	36,221	430,716
令和6年度(B)	58,524	54,577	41,063	34,780	23,205	31,747	54,140	38,875	19,714	5,789	6,820	24,391	393,625
(A)/(B)	98.5	123.1	114.0	135.5	139.5	161.7	82.4	40.4	56.7	186.4	143.2	148.5	109.4
増減要因等	減少要因:(主な要因)総合球技場10月・11月使用停止(△27,575)、東管理棟(△2,267)、補助競技場(△2,234) 増加要因:(主な要因)体育館利用再開(年間42,888)、ドーム(23,218)、ランニングステーション(779)、バター・多目的(1,772)												

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度(A)	6,603	10,816	6,363	7,061	4,536	5,854	8,507	3,440	2,821	2,276	2,001	-5,113	55,165
令和6年度(B)	7,875	7,071	5,458	5,493	3,081	4,088	8,522	4,842	4,069	1,584	1,475	3,962	57,520
(A)/(B)	83.8	153.0	116.6	128.5	147.2	143.2	99.8	71.0	69.3	143.7	135.7	-129.1	95.9
増減要因等	減少原因:(主な要因)総合球技場使用停止による(△15,414)、バター(△76.5) 増加要因:(主な要因)体育館利用再開(9,292)、ドーム(3,514)、球技場(260)												

(様式2)

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有 ・ 無	体育館の改修に伴い、新たに利用料金を設定

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
令和7年度(A):365日 令和6年度(B):365日	令和7年度(A): 8:30～22:00 令和6年度(B): 8:30～22:00	有 ・ 無	

(5) サービス向上のため実施した内容

・バラ園・親水広場など人が多く集まる場所周辺にキッチンカーを展開し、移動販売を強化。来園者のサービス向上を図った。 ・年間を通してアルウインのスポーツターフ管理に注力、低温期、酷暑期の使用を乗り切り、使用時期に良好な芝生を維持することができ、Jリーグからも高評価を得ることが出来た。 ・春のランニングフェスタを始め、園内を走るイベント主催者などと連絡打合せを重ね事故防止に努めた。特に令和7年は競技スポーツゾーンでの工事に伴う園路迂回が頻繁に行われたため、案内看板設置・HPでの情報提供・SNS発信など情報発信にも努めた。 ・10月2日に発見されたアルウイン部材落下事象を受け、例年開催されていたアルウイン無料開放は中止。Jリーグ4試合が開催できなかった。この影響でアルウイン会議室も安全が担保されるまで利用停止となったため、予約頂いていた利用者の他施設への変更調整、案内を行い、利用者の不便を最小限に抑えるよう努めた。 ・公園を利用される皆様に向けた啓蒙活動を展開、園内放送の内容見直し、案内看板や注意喚起看板を分かり易いイラスト入りにするなど工夫した。
--

(6) その他実施した取組内容

・松本マラソン中止を受けて、ドーム予約の空いた穴を埋めるべく、「春ラン スピンオフ 秋のスポーツチョイス」企画を自主事業イベントとして開催した。また、「夕涼みランニング」「年末ランニング」のスピンオフ企画も実施した。 ・毎日行う巡回清掃のほか、各窓口担当者による施設周辺のトイレ・園路の見廻りを実施。清潔感の向上・利用者マナー向上に努めた。あわせて他団体・企業様の清掃ボランティアを積極的に誘致することでより一層の美しい公園を目指した。 ・秋には『オーバーヘッドフェスティバル』企画を立ち上げ、公園の新たな魅力創出に注力した。

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

・トイレが暗くて困っている。 ⇒ 人感センサーライトの取り付けを行い対応した。 ・犬のフン、ゴミが多い ⇒ 看板設置による注意喚起、声掛けによる注意、巡回時に清掃を実施した。 ・FDA離発着時刻を掲示してほしい ⇒ 時刻表掲示を実施して対応した。

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指 定 管 理 者	所 管 課	評価
施設の目的に沿った管理運営	・協定書、仕様書及び事業計画書に基づき、年間の公園管理計画書に従って管理運営を実施した。また、必要に応じて県と打合せのうえ協議を行い、臨機応変な管理運営を行った。 ・適切な施設の管理運営となるよう年2回防災訓練や救命救急講習などの他、危険物取扱者・街路樹剪定士等の資格取得、スタジアム情報交換会など講習会に参加し公園管理の技術向上に努めた。 ・総合球技場バックスタンドの部材落下に伴い利用停止となった際は、利用者へ復旧までの情報提供や、速やかな復旧に向けての工事の実施について県と協力して管理に当たった。 ・県と協力して公園の魅力向上のため、バラクライングリッシュガーデンをアドバイザーに迎え、講習会等を開催した。	・協定書、仕様書及び公園管理計画書に基づき、適正な管理運営を実施したと認められる。 ・各種講習会等の参加や公園管理向上のための資格取得等、松本平広域公園魅力向上推進事業に係るバラクライングリッシュガーデンの講習会の開催など、公園スタッフのスキルや意識向上に努めている。 ・総合球技場バックスタンドの部材落下といった過去に事例の無い事案についても、適切な対応を行った。	A
平等な利用の確保	・競技スポーツ施設利用者調整会議を実施し、公正な施設利用機会の提供を図った。併せて令和8年度の陸上競技場と庭球場の利用開始に向け準備を整えた。 ・ホームページや多くの人が閲覧するインスタグラム・facebook・Xを随時更新、有料施設の空き状況公開の他、予約システムを稼働させ平等な利用機会を提供した。 ・利用の多いバーベキューピットは場所取り禁止の表示等を設置した。巡回時に場所取りとならないよう、平等な利用になるように対応を行った。	・施設利用者調整会議を行うことで、公正な利用機会を提供し、公園の平等利用に努めた。 ・ホームページ、インスタグラム、Xなど複数のSNSを随時活用、幅広い世代の人が平等に利用できるような広報を行っただけでなく、新たに予約システムも開始しこれまで以上に平等な利用機会を提供している。 ・時期によって混雑がみられるバーベキューピットにおいて、平等に利用できるような工夫を行いトラブルの予防に努めている。	A
利用者サービス向上の取組	・予約システムを稼働させ利用者の利便性向上を図った。 ・夜間体育館利用者のため、センサーライトを設置し、夜間利用時の安全確保を図った。 ・劣化した園内ベンチ座面の補修・塗装を実施した。 ・陸上競技場整備事業や体育館改修・アルウインスタンド座席改修などの県発注施設改修工事状況をホームページや園内看板で周知し、利用者が安心安全に公園を利用できるよう配慮した。	・予約システム開始により、施設利用者の利便性がより向上したと認められる。 ・体育館へのセンサーライト設置では、事故が起こりやすい夜間の安全が向上した。 ・陸上競技場や体育館等といった工事が多い年度において、県と工事に係る打合せを適切に行い、利用者の安全利用のためのサービス向上に努めた。	A

(様式2)

自主事業	・中高生に就労体験、職業見学の場を提供し、働くことへの動機付けをサポートするため、中高生の受け入れをし、公園業務を体験するジュニアインターンシップを実施した。 ・フィットネス教室やテニス教室、英会話教室など多様な教室を開催したほか、学びのきっかけの場を提供する「TOYBOX教室あそんでまなんで」を開催した。 ・リビングガーデンハウスの利用促進を目的として「1日1組限定！リビングガーデンハウスでBBQをしよう」を4月と11月に開催し好評を博した。 ・総合球技場の有効活用のため、(株)松本山雅協力のもと、松本山雅FCのアウェイゲームのパブリックビューイングを実施した。	・中高生の就労体験や職業見学など自主事業を通して次世代の人材育成に繋がる取組を行っている。 ・新たな自主事業「TOYBOX教室あそんでまなんで」では、公園という遊びと学びが交差する場において、幅広い世代が様々な体験ができるような場を提供している。 ・施設PRや有効活用といった、施設利用につながる自主事業も積極的に行っている。	A
職員・管理体制	常勤職員:42名、非常勤職員:4名、計46名 ・仕様書及び事業計画書に基づく職員配置を行うとともに、事件事故・災害対応など本社と連携し体制を強化して対応した。 ・有資格者の施設点検を適宜実施。公園管理運営士や遊具点検講習者等の巡視により安心安全な公園管理運営に努めた。 ・園内のネットワークカメラ50基、オフラインカメラ28基を活用し安全及び防犯の向上に努めた。 ・植物等の専門知識を有したスタッフが中心となりバラ園や花木を充実させ魅力向上推進事業と連携し美しい公園づくりを実践した。	・職員を適正に配置するとともに、事件・事故、災害においては本社とも連携するなど利用者の立場に立った適切な体制が認められる。 ・有資格者の点検を適切に実施することで安心・安全な公園管理を行い、公園利用者の事故等の予防に努めている。 ・ネットワークカメラを監視することで公園利用者の安全や防犯に寄与している。 ・植物の専門知識を有した職員による管理を行うことで、公園利用者から好評のバラ園の魅力や松本平広域公園魅力向上推進事業の向上に寄与している。	A
収支状況	・本業収入(508,703千円)と自主事業収入(40,351千円)の収入合計549,054千円に対し、支出の圧縮を図り、本業支出(500,553千円)と自主事業支出(33,278千円)の支出合計533,831千円とした。結果、収支差額は15,223千円となり、堅実な運営を行うことが出来た。 ・DIM修繕を行うことによりコスト縮減を図り、外注費を抑える事ができた。(対概算外注費用比-6,681千円)	・光熱費、人件費の高騰が続く中で、DIM修繕・デマンド管理による支出の削減を図り、堅実な運営ができています。	B
総合評価	・体育館の利用再開や安心安全な公園づくりの結果として有料施設利用者数は前年比約2.7万人増の42万人となり多くの方にご利用いただきました。 ・更新を必要とする照明器具は積極的にLED化するなどし、光熱水費の縮減に努めた。 ・看板の設置と園内放送により公園利用者のモラル向上啓発を図った。 ・総合球技場バックスタンド部材落下発生時には県と協力して駐車場の閉鎖など緊急対応を実施した。速やかな復旧と工事の情報提供について県と協力した。 ・公園の魅力向上推進事業について県と協力して実施した。	・有資格者による点検や表示等の工夫、防犯カメラの運用等、様々な視点から安心・安全に利用できる公園づくりが行われている。 ・光熱費が高騰する中で、デマンド管理や照明器具のLED化、予約システムの運用によるペーパーレス化など、様々な方法でコスト削減に努められている。 ・総合球技場バックスタンドの部材落下という過去に事例のない事案に対しても、県と情報共有を迅速に行うなど、適切に対応した。 ・松本平広域公園魅力向上推進事業においては、アドバイザーの意見を聞きながら、公園の更なる魅力向上に努めている。	A

＜評価区分＞ A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項 目	指 定 管 理 者	所 管 課
施設の管理運営の課題	・利用者の多様化によるモラル・マナーの低下への対策 ・施設・備品に対する予防的修繕体制の構築 ・大型イベント事業の継続、販売事業等の新規自主事業による賑わい創出と利用の拡大 ・気候変動に伴う、ゲリラ豪雨や落雷などへの対応。	・指定管理者と連携し、SNSを活用するなどして不適切な公園利用対策やモラル、マナーの啓発を含めた広報活動の取組を進めていきたい。 ・指定管理者の自主事業を共催・後援することで後押しし、維持管理の負担軽減に努め、さらなる賑わい創出や魅力向上など図っていきたい。

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:令和 年 月 日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課